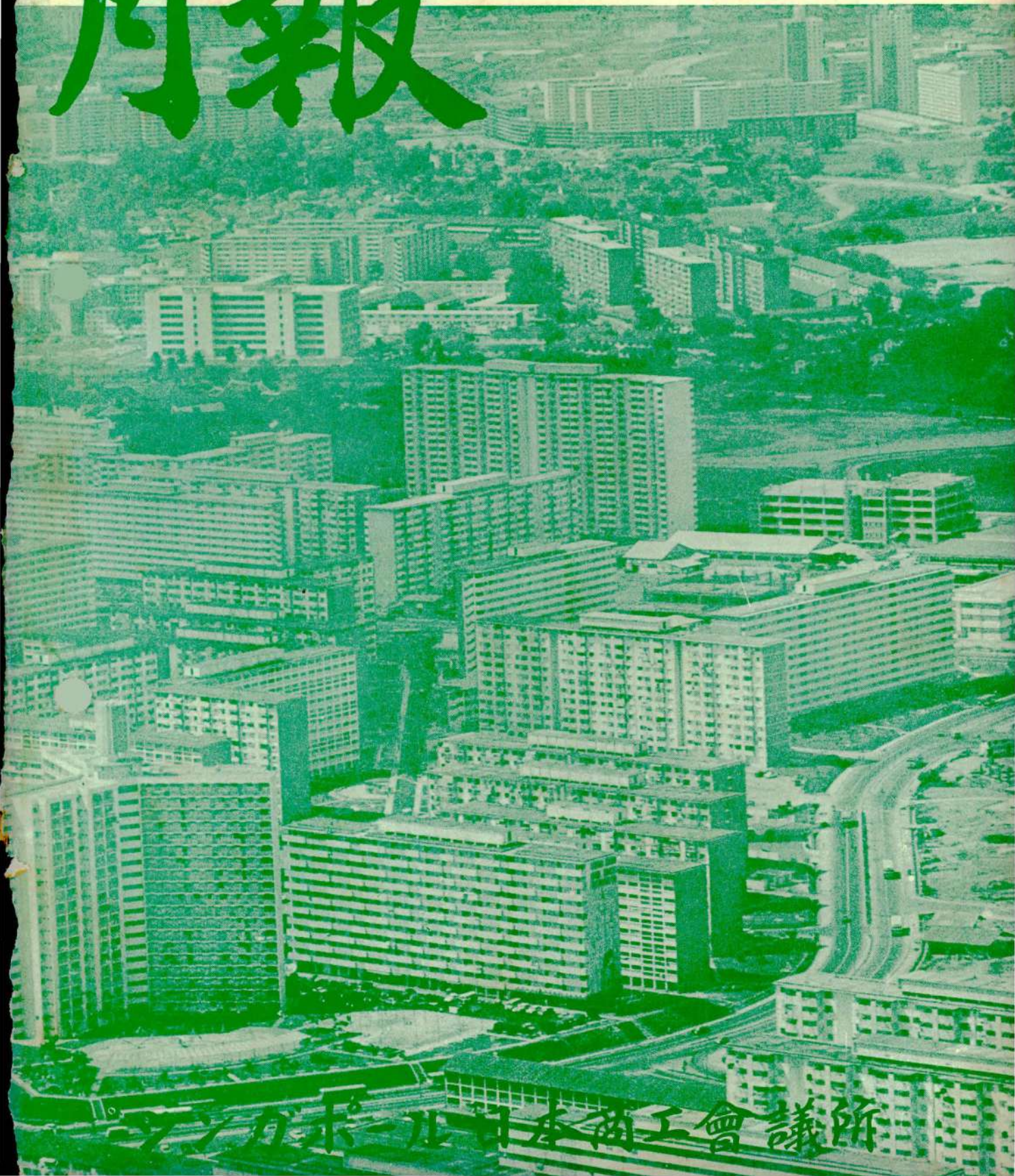


STRICTLY MEMBERS ONLY

M. C. (P) No. 2764

1971: 7 月號

月報



ソングボール日本商工會議所

目次

御挨拶	1
新加坡日本商工會議所 會頭 大槻信治	
マレーシア5カ年計画	3
株式會社東京銀行 クアラルンプール支店	
シンガポールの保険事情について	7
日本火災海上保險株式會社 林雅美	
理事會のうごき	16
部會活動	18
広報欄	21
事務局だより	22
1970年度年次報告	23
1970年度會計報告	44

Printed by:-
Tien Wah Press (Pte) Ltd.





新加坡日本商工會議所

會頭 大槻信治



今回、不肖、榮ある當會議所の會頭の重責を担わして
頂くことになりました。

1969年7月に當會議所が発足しましてから二年有
余、その間、會員數は、當初の68が70年7月には
76、今日では91と年々増加致して居り、順調な發展
を示して來ていることは、誠に御同慶の至りと存ずる次才です。

日本と當国との貿易額を概観しましても、御高承の通り、69年は輸出入合計
1,354百万弗（シンガポール弗）で、當国総貿易額の約12.3%を占めていました
が、70年は1,820百万弗と、対前年比34.4%の著増を示し、當国総貿易額の
14.8%を占めるに至り、當国にとって、日本は西マレーシアと並んで最大の貿易相
手国となるに至りました。

ただ、ここに、よく云われます様に、二つの問題が存在していると思われま

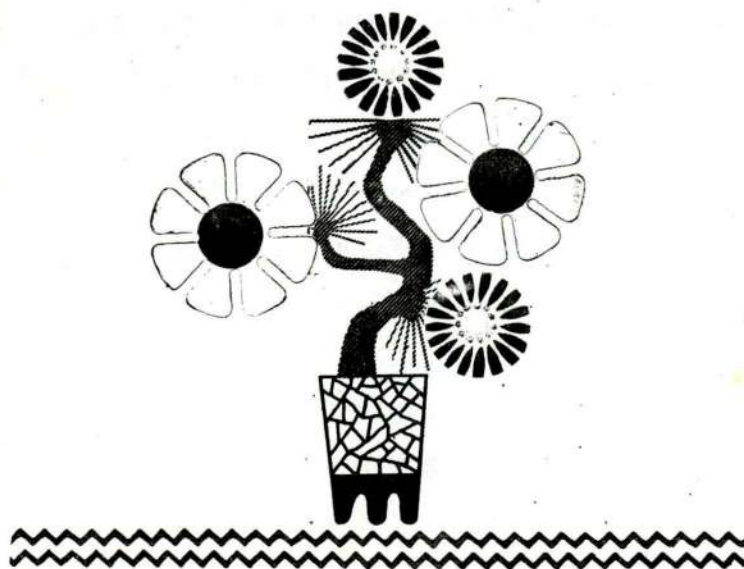
其の一は、この貿易額の内、日本からの輸入が、日本への輸出より遙かに多いと云
うことです。「貿易は互惠」の見地から、日本は、もつと、當国の産物、製品を買い
買努力しなければならないと思います。

其の二は、當国への外資投下であります。日本は、貿易面では、上述の様に、最大
の相手国であるに不拘、資本投下面では、御承知の通り、米、英諸国のはるか後塵を
拜して居ります。この點、一層の日下からの投融資、經濟協力が期待される訳で、當
国の工業化政策の線にそつて、工業を興し、その製品を、日本向は勿論のこと、廣く
世界各国に輸出する様、努力、勵力しなければならないと思います。

以上、誠におこがましい話となりましたが、卑見の一端を申上げました次才です。

幸いにして、専任事務局長の着任も得ましたことでもあり、松本、櫻井兩副會頭、理事各位及び會員の皆様方の御支援、御協力を得まして、微力ながら、この重責を果たして参りたいと存じて居ります。何分共宜敷御願ひ申し上げます。

以上



マレーシアのオ2次5カ年計画

株式会社東京銀行

クアラ・ランパール支店

1. マレーシア首相 Tun Abdul Razak は、5月27日に行なわれた新聞記者会見において、當国のオ2次5カ年計画（1971～1975）に関し、大要次のごとき談話を発表した。
 - (1) オ2次5カ年計画に基づく総支出は14,350百万Mドルに達し、これはオ1次5カ年計画に比し、3,850百万Mドルの増加であり、1968年の修正計画に比すれば3,316百万Mドルの増加となる模様である。総額中7,250百万Mドルは公共部門の開発、7,100百万Mドルは民間部門の開発に充當され、公共部門の開発資金は Employees Provident Fund, Teacher's Provident Fund, Post Office Saving Account 等国内機関からの資金および世銀、アジア開銀、その他外国からの借款に依存し、民間部門の開発資金は民間投資および外資導入により賄われる予定である。
 - (2) オ2次5カ年計画においては、民族の統合促進、ならびに社會開発に重点をおき、とくに商業、工業兩部門において、マレー人自身の企業新設促進あるいは、マレー人と非マレー人との合併企業創設に力を注ぐ方針である。
 - (3) オ2次計画は過去5年間のGNP平均伸び率6.5%を前提としており、1970年1人當り国民所得1,080Mドルに対し、1975年には1,300Mドルとなることを目指しており、また新規雇用増大も5カ年間に約60万人となり、過去5年間の平均水準の30%UPを目指し、1975年における失業率は総労働人口の7.3%となり、1970年の8%に比し、0.7%の良化を見込んでいる。

(4) さらに早急な対策を必要とする諸問題として、貧困、失業、人種間の経済的不均衡等が残っているが、政府の新経済政策は、これらの難問題克服を目標としている。すなわち才1に、マレーシア全民族から貧困を撲滅し、社会の再編成を行なうことであり、才2は地方住民の生活の近代化、都市周辺の安定的成長、マレー人の商工業関係企業の新設を通じての人種間の経済的不均衡の是正をはかることである。

(5) 貧困撲滅のための5大開発計画としては、

- ① 百万エーカー近くの新国土開発により、10万人以上の新規雇用を造出する。
- ② 小規模ゴム栽培業者(主としてマレー人)に対する685千エーカーのゴム樹再植付け計画および工場施設の近代化。
- ③ 科学、工業技術により地方農村の近代化をはかる。すなわち、家畜、牧畜の開発、並びに農業漁業面における近代技術の導入促進。
- ④ 農業金融および市場の開拓促進。
- ⑤ 都市、地方の低所得層に対する教育、保健、住宅、水道、電気の供給を実施する予定である。

(6) マレーシア社会の再編成、およびマレー人商工業関係企業の新設は、政府を通じ、逐次実施の運びとなることが見込まれ、この新経済政策達成のため政府機関たるMARRA(人民信託局)、FIDA(Federal Industrial Development Authority)、MIDF(Malaysia Industrial Development Finance)、PARNAS(National Corporation)、UDA(Urban Development Authority)が、マレー人自身の企業、あるいはマレー人と他人種との合弁企業のいかに問わず、必要な技術的、資金的援助を行なうであろう。

政府は、今後20年間に、いかなる種類の商工業活動分野においても、少なくとも30%のマレー人の資本参加、または経営参加の確保を目標としており、才2次5カ年計画の達成は工業プラント、鑛山開発、交通運輸施設の擴充、住宅建設、ビル建設等を含む民間投資の促進に依存するところが大きい。

2. 才1次5カ年計画(1966~1970)公共部門の達成状況は次表のとおりで、開発途上国としては良好で満足すべきものと考えられる。ちなみに才1次5カ

年計画総額は、公共部門開発4,585、（以下単位百万Mドル）民間部門開発6,449、合計11,034でこの達成状況をみると、公共部門は下記のとおり90.7%、他方、民間投資計画6,449に対し実績は5,051、達成率78.3%にとどまつた。

（単位：百万Mドル）

	修正計画	実 績	達成率
（経済部門）			
農業、地方開発	1,208	1,091	90.3 %
鑛工業開発	196	200	102.0
運 輸	582	538	92.4
通 信	212	198	93.4
水道、電気等	708	687	97.0
（社会部門）			
教育訓練	289	253	87.5
厚生、家族計画	163	141	86.5
住 宅	207	198	95.6
そ の 他	85	69	81.2
行政機関	172	136	79.1
小 計	3,822	3,511	91.9
国 防	598	512	85.6
治安・警察	165	135	81.8
小 計	763	647	84.8
合 計	4,585	4,158	90.7

（資料出所： Economic Planning Unit ）

3. いずれにせよ、才2次5カ年計画案は、来る7月5日より始まる国会の議決を経て正式公表され、発足する予定であり、詳細は目下不明の段階であるが、今回の Razak 首相談話に対し、一部野黨（D A P）を除き大方の支持を得ており、さらにマレーシア連合商工會議所および中華總商會も賛同の意を表している旨報道されているので、政府案の国会通過は容易であろう。

さらに今次計画中最も注目すべきことは、マレー人の商工業部門における企業進出が大きく打出されている点であり、今後當国産業分野における非マレー人、とくに中国人の活動形態が、逐次マレー人との合弁企業形態に移行するであろうことが予測されるが、果して計画どおり進捗するか否か今後の成行きを注目する必要がある。

以上



シンガポールの保険事情について

日本火災海上保険株式会社

林 雅美



面積581平方キロの廣さしかない Singapore 共和国は東南アジアで最も競争の激しい Insurance Market になつております。此の Insurance Market 事情を、Insurance Commissioner の Annual Report を中心にして極く簡単にお話し申し上げます。(註

Annual Report は、7月現在、残念乍ら1968年度迄の數字しか発表されておられません。いささか古い數字になりますが、大体の様子はつかんで頂けると思います。)

1. Insurance Act, 1966 と Insurance Commissioner

Singapore に於ける保険事業は、全て、Insurance Act, 1966 と云う法律によつて規制されております。そして Insurance Commissioner (Ministry of Finance) の監督、指導を受けます。

2. 保険会社の數と種類

(1) 1969年12月末迄で、損害保険、生命保険あわせて79社が此の S'pore 国内で營業認可をとつております。

此のうち66社が損害保険 (General Insurance と云う) を営み、7社が生命保険 (Life Insurance)、そして残りの6社が損保と生保を兼營しております。此の外に Lloyd's Underwriter が Broker を通して當地の契約を引受ける事を認められています。

(2) 国籍から見ますと、生命保険を営む会社のうち、5社が地場の会社 (Local Company)、8社が外国系会社 (Foreign Company) であり、損害保険では10社が Local Company、62社が Foreign Company です。本年 (1971年) に入つて

Local の損害保険會社が一社設立され、合計80社になつています。

- (3) 1969年度に於て、Insurance Corporation of Singapore Ltd. (I. C. S.) と云う Government Enterprise が加わりました。これは政府の保険分野への初めての進出として注目を集めました。此の I. C. S. の出現は、當地 Insurance Market であれこれ取沙汰されましたが、當時の Goh 大藏大臣の「健全な競争を通し、Local Company をリードしそれを育成してゆく」と云う発言通り、Local Company の支柱的存在になりつつある様です。

3. 保険協會 (Insurance Association) と Tariff Rate.

損保、生保とも、Singapore, Malaysiaを通じ、それぞれひとつの保険協會を作つております。

- (1) 生保協會 (Life Insurance Association) は、全メンバー會社 (Life Insurance Company) が Committee Member になつており、毎月1回 S'pore と Kuala Lumpur の兩地で交代に委員會を開いています。

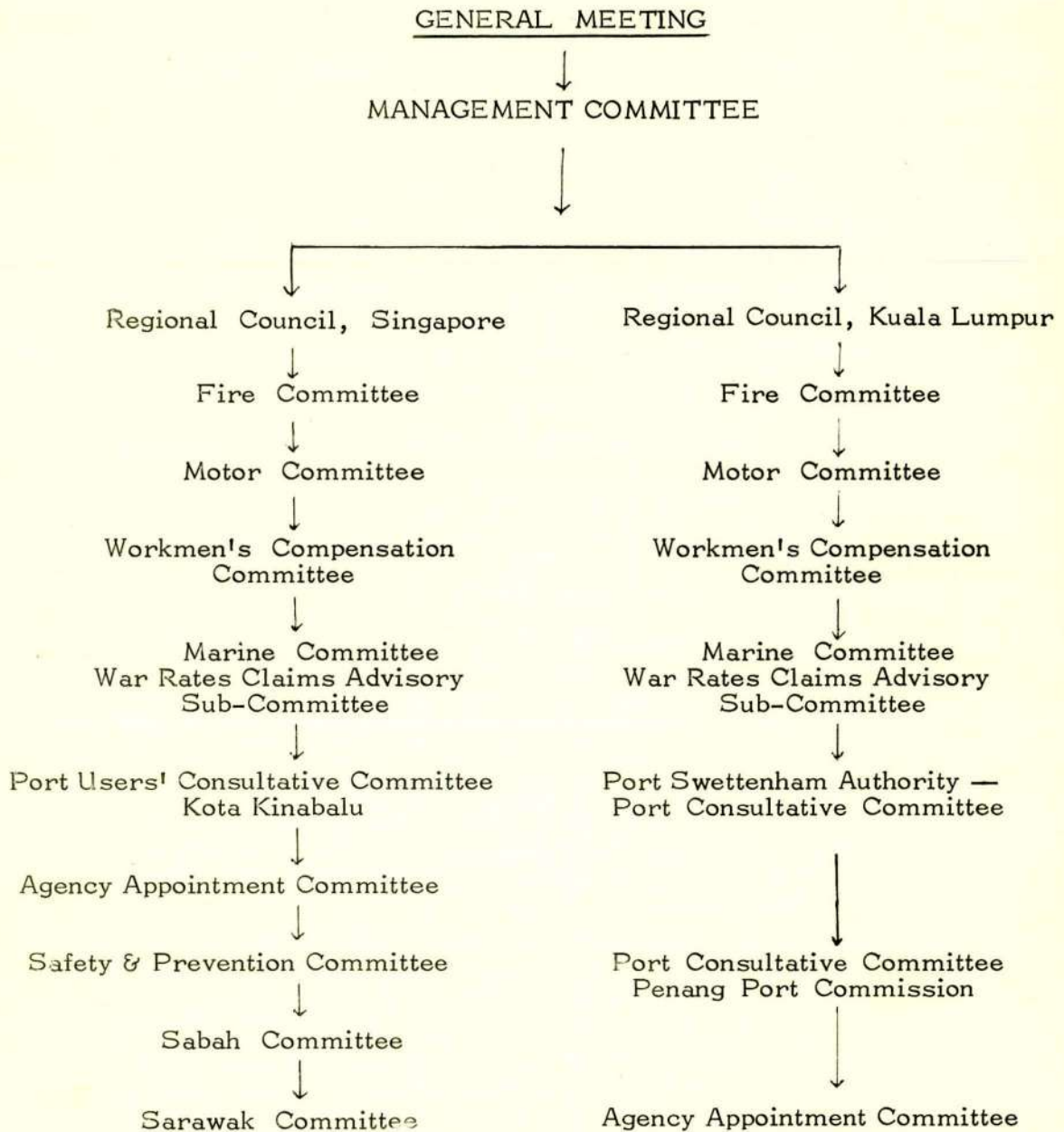
- (2) 損保協會 (General Insurance Association) は、Singapore, Malaysia を通じ、メンバー會社が多く、又多岐に亘つて問題が數多く出されますので、協會の最高執行機関である Management Committee の下に各種の Committee をもつており、各 Committee で専門的な立場から話し合いを行います。全メンバー會社による General Meeting が最高の議決機関である事は、申す迄もありません。次に General Insurance Association の構成を圖示します。(次頁参照)。

- (3) 此の保険協會に於て、或る種の保険については料率條件等を規定しており、メンバー會社は、これに従わなければなりません。いわゆる Tariff です。

生命保険は Tariff Rate が無く、各メンバー會社により若干引受け方や料率に差がありますが、此れらは Insurance Commissioner の個別の認可を得ております。

損害保険では、火災、自動車、労災保険が Tariff になつており、保険條件、料率、代理店の任命、その他を一律に規定しておりますが、海上保険や新種保険(盗難、傷害、賠償、建設工事保険等)は、Tariff が無く自由な條件、料率で引付ける事が出来る様になつています。

(For the year 1970)



4. 損害保険 (General Insurance)

各種の統計を通じ、當地 Insurance Market の実態——例えば、全社の収入保険料、伸び具合、Local Company と Foreign Company との力関係、各種目別の実態等を簡単にご説明します。

(1) Gross Premium Income (元受総収入保険料)

まず、保険会社が年間にどれだけ保険料を受取つているか見てみましょう。

Year	\$ Million	対年前比 %
1965	43.79	
1966	45.85	10.5
1967	52.60	11.5
1968	60.35	14.7

保険料収入は、経済の発展に強く結びついておりますので、Singapore の経済成長が年年確実に早まつている事がお判りになると思います。

又此の数字を、Local Company と Foreign Company に分けて見てみましょう。下圖の様、Foreign Company が壓倒的に強く、1968年度では、Local が8.9%の伸びに較べ、Foreign Co. は16.9%と、約倍近い伸び率を示しています。政府系保険会社設立の理由が判る様な気がします。

(\$ Million)			
	Local Co.	Foreign Co.	Total
1966	12.02	33.83	45.85
1967	14.05	38.55	52.60
1968	15.30	45.05	60.35

(2) 各保険種目別にみると保険料の割合は次の通りです。

(\$ Million)

Year	Marine, Aviation or Transit	Fire	Motor	Miscel- laneous	Total
1966	10.97	9.12	16.20	9.56	45.85
1967	13.62	10.23	18.23	10.52	52.60
1968	15.45	12.02	20.52	12.36	60.35

他の保険種目に比し自動車保険の割合が多い事にお気づきと思います。1968年未で Singapore は121,102台の自動車と、80,283台の Motorcycle、1,907台のバスを動かしており、これが、1968年度保険料に反映しているのですが、現時点では、更に大きな増加を示している事と思います。

(3) 種目別に Local Co. が占める割合は次表の通りです。特にどの種目に Local Co. が強いと云う事も云えませんが Motor Insurance よりも Fire Insurance を伸ばしている傾向にある様です。

(%)

Year	Marine, Aviation or Transit	Fire	Motor	Misc.	Total
1966	16.3	24.9	34.0	25.7	26.2
1967	20.1	26.3	34.3	22.6	26.7
1968	17.6	28.0	29.2	26.1	25.4

(4) 次に、収入保険料に対して、どれだけクレームとして支拂われているかの割合 (損害率又は Loss Ratio と云う) を見て頂きます。

Year	Premium (\$ Mil.)	Claim (\$ Mil.)	Loss Ratio (%)
1965	43.79	18.71	42.73
1966	45.85	18.91	41.24
1967	52.60	23.64	44.92
1968	60.35	21.54	35.69

又保険種目別に見た場合の損害率は次の通りです。

(%)

Year	Marine, Aviation or Transit	Fire	Motor	Misc.
1966	54	11	58	27
1967	70	17	52	27
1968	48	13	47	23

これらの表でお判りの如く、損害率については、保険引受け技術の向上、消火体制の改良、技術進歩等により、全体として良い方向に向っている様です。又種目別に見た場合、火災保険は、損害が少なく、保険会社のドル箱であり、これと比較して逆に自動車保険、Marine, Aviation etc. (中でも船舶保険関係と思われる)が、全く利益の出ない種目になつています。従つて、良成績の火災保険分野で、保険会社間の競争は、最も激しくなつております。自動車保険の Poor Claim Experience は世界的な傾向で、日本でも最近料率が大幅に引き上げられた事は、ご記憶に新しいと思います。この様に、自動車保険は、當地でもよくありませんので、今後、種々の規制が出てくるであろうと予想されます。

- (5) 損害保険会社の、資産運用の内訳が、どの様な傾向になつているか次表でみてみましょう。

I T E M	1965 %	1966 %	1967 %	1968 %
Property	34.5	31.5	28.0	22.4
Loans	3.6	4.2	3.4	2.4
Government and Local Government Securities	5.0	7.9	9.7	17.1
Debentures and Shares	7.8	7.9	8.7	14.1
Cash and Cash Deposits	31.8	34.5	35.6	31.9
Miscellaneous (incl. outstanding premium)	17.3	14.0	14.6	12.1
	100.0	100.0	100.0	100.0

5. 生命保険 (Life Insurance)

- (1) 最近数年間の Life Insurance に於ける年間の規模と伸長率を保険金額 (Sum Insured) と保険料 (Annual Premium) の両面からみてみましょう。

Sum Insured

Year	\$ Million	Percentage increase for year (%)
1965	350.55	
1966	385.43	10.0
1967	433.47	12.5
1968	476.04	9.8

Annual Premium

Year	\$ Million	Percentage increase for year (%)
1965	17.91	
1966	19.62	9.5
1967	21.72	10.7
1968	23.50	8.2

次に、これを Local Company と Foreign Company に分けて見てみましょう。

Sum Insured

Year	(\$ Million)		
	Local	Foreign	Total
1966	164.09	221.34	385.43
1967	191.81	241.66	433.47
1968	209.65	266.39	476.04

Annual Premium

(\$ Million)

<u>Year</u>	<u>Local</u>	<u>Foreign</u>	<u>Total</u>
1966	8.32	11.30	19.62
1967	9.80	11.92	21.72
1968	10.79	12.71	23.50

生命保険事業も毎年着実に伸びております。この中で、Local Company は、養老保険 (Endowment Assurance — 一定年令に達すると保険金が支払われる) 分野に於て大きなシェアを持ち、一方、Foreign Company は、死亡保険 (whole life assurance — 死亡時に指定した受取人に保険金が支払われる) の大部分のシェアをもつております。又、Local Company では、企業を対象とした Industrial life assurance (団体生命保険) を実施しており、かなりの成功を収めております。

此の life Insurance 部門で加筆すべきことは、最近 NTUC (The National Trades Union Congress) をバックに形成された INCOME (Insurance Cooperative Commonwealth Enterprises Limited) の出現であります。當地に於ける組織労働者を対象に、団体生命保険を取扱っておりますが、概して、低所得者層の要請に應えようとしているのに較べ、最近 Life Insurance 部門に進出した ICS が、中、高所得者層をを狙っているのと対象的であります。

- (2) 生命保険會社の場合も、資産がどの様に運用されているか、その概況を次表でみてみましょう。

I T E M	1 9 6 5	1 9 6 6	1 9 6 7	1 9 6 8
	%	%	%	%
Property	18.0	15.3	12.6	11.9
Mortgage Loans	20.9	19.4	16.2	14.0
Policy Loans	14.2	12.7	11.6	11.1
Government and Local Government Securities	10.4	9.0	15.2	28.2
Debentures and Shares	26.2	29.0	32.6	23.7
Cash and Deposits	7.5	12.7	9.1	8.1
Miscellaneous	2.8	1.9	2.7	3.0
	100.0	100.0	100.0	100.0

損保の場合も生保の場合も、年々の収入保険料の拡大は Government Securities の Percentage に現れて来ております。

以上

理事会のうごき



7月13日(火)開催の才24回理事会において、下記の事項が決定されました。

(1) Committee Chairman

General Affairs & Legal Committee

松本副會頭

Liaison & Public Information Committee

櫻井副會頭

(2) 部會担当理事

商社部會 Mitsubishi Corporation

工業建設部會 Mr. K. Sakurai

運輸通信サービス部會 Nisshō - Iwai Co., Ltd.

金融保險部會 The Mitsui Bank, Ltd.

肥料化学品部會 Marubeni - Iida Co., Ltd.

ゴム部會 Bridgestone Tire Co., Ltd.

金屬部會 Nippon Steel Corporation

纖維部會 C. Itoh & Co., Ltd.

(3) Auditor

内部 Auditor

Mitsui O. S. K. Lines, Ltd.

外部 Auditor

Mr. S. F. Chan

(4) Secretary

Honorary Secretary Mr. T. Tanno

Executive Secretary Mr. S. Mizoguchi

Assistant Secretary Mrs. T. Tan

(5) 次の三氏への記念品贈呈

藤原誠氏 (Legal Matters Committee)

加藤良隆氏 (General Affairs & Accounting Committee)

中尾桂二氏 (Secretary)

(6) 歴代会頭寫眞のアルバム収録

(7) Members List, Joint Ventures List, 1971年版の作成

以上





○ 肥料化学品部會

- 日時 1971年7月23日(金)午後12時30分~2時
- 場所 新加坡日本商工會議所
- 議事 (1) 戸室前担当理事退任挨拶
小林新担当理事就任挨拶
- (2) 正副部會長の選任
下記のとおり選任された。
部會長 青柳氏(三井物産)
副部會長 高見氏(丸紅飯田)
- (3) 部會運営方針について意見交換が行なわれた。
- (4) 合成樹脂マーケット状況等に関して情報交換が行なわれた。
- (5) 化学品の輸入に際して、税関の税率適用措置をめぐって種々トラブルが起こっている旨の発言があり、事例を集めたうえで、税関と話し合う必要がある旨、意見の一致をみた。(この件については、當部會が中心となつて、とりあえず、関係各社から事例を集めることとなつた。)

○ 運輸通信サービス部會

- 日時 1971年7月27日(火)午後12時30分~2時
- 場所 Orchid Inn
- 議事 (1) 川田新担当理事の挨拶
- (2) 正副部會長の選任
下記の通り選任された。
部會長 藤野氏(川崎汽船)
副部會長 河田氏(日本通運)
- (3) その他
藤野部會長より、最近 Water Pollution についての規制が厳しくなつてきた旨報告があつた。

○ 金融保険部會

日時 1971年7月28日(水)午後12時30分～2時

場所 新加坡日本商工會議所

議事 (1) 富樫理事挨拶

(2) 正副部會長の選任

次の通り選任された。

部會長 鵜飼氏(東京銀行)

副部會長 林氏(日本火災海上保險)

(3) 部會運営方針について意見交換が行なわれた。圓切上げ問題のほか、保險についても話題にとりあげることで意見の一致をみた。

○ 纖維部會

日時 1971年8月6日(金)午後12時30分～2時

場所 新加坡日本商工會議所

議事 (1) 梶原新担当理事挨拶

(2) 正副部會長の選任

次の通り選任された。

部會長 筒井氏(伊藤忠)

副部會長 澤田氏(JETRO)

(3) 部會運営方針に関し次の諸點が決定された。

(1) 2カ月に1回部會を開催する

(2) 輸出組合作成の輸出統計をとり寄せ、これをもとに懇談する。

(3) インドネシア駐在商社との連絡を密にし、情報交換に努める。

(4) 日本からの纖維関係來訪者との懇談會を出来るだけ開催する。

○ ゴム部會

日時 1971年8月11日(水)午後12時30~2時

場所 新加坡日本商工會議所

議事 (1) 宮地理事挨拶

(2) 正副部會長の選任

次の通り選任された。

部會長 淺原氏(加商)

副部會長 曾我氏(三井物産)

" 山口氏(野村貿易)

(3) 部會運營方針について意見交換が行なわれた。



廣報欄

入會

HITACHI ZOSEN OCEAN DEVELOPMENT CO. (PTE) LTD. "D" Membership

19A-25A, Cecil Street,
Singapore, 1. (Tel. No. 912743)
Mr. S. Kumai

Iwatani & Co., Ltd. Singapore Representative Office "D" Membership

Room No. 22, Hotel Wisma, Orchard Road,
Singapore, 9. (Tel. No. 376333 ext.3)
Mr. T. Sato

KNITCRAFT CO. (PTE) LTD. "D" Membership

33F-35F, Jalan Tenteram, St. Michael Estate,
Singapore, 12. (Tel. No. 515327)
Mr. T. Imanaka

THE SANWA BANK, LTD. "C" Membership

35-36, Phillip Street,
Singapore, 1. (Tel. No. 912444)
Mr. A. Hashimoto

Singapore Apparel Manufacturing Co (Pte) Ltd. "C" Membership

5th Floor, Block No. 3 Tiong Bahru Estate,
Lower Delta Road, Singapore, 3.
(Tel. No. 634309)
Mr. T. Ohara

退會

SINGAPORE GALVANIZING INDUSTRIES PTE. LTD.

事務局だより

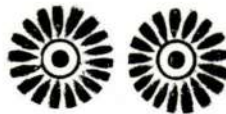
- このたび、The Statutes of the Republic of Singapore (法律集) を Volume VII まで購入いたしました。ぜひご利用下さい。(ただし、會議所にてご利用願います。)
- 最近、商工會議所に対する Inquiry が、とみに増えております。Trade Inquiry だけで、1カ月にどれくらいになるかと思つて記録してみました。

7月の Inquiry 件数

文書によるもの 6件

電話によるもの 25件

來訪者 58件(64人)



新加坡日本商工會議所

1970年度年次報告

1970年度における當所の事業活動は、前年度に引き続き活発に展開され、1971年よりの日本政府ならびに日本商工會議所の補助金交付の開始、および専任事務局長の赴任と相俟つて、海外日本人會議所としての基盤を一段と強化するに至つた。

いま、1970年度の當所事業活動を概観すると次のとおりである。

まず、70年度年次總會において、設立初年度の事業並びに會計報告を承認するとともに、理事10名の選舉を行い、正副會頭を選任した。

理事會については、才12回より才23回に至る計12回の理事會開催、並びに書面審議(1回)を行ない重要事項を決定し、會務運営の圓滑化を圖つた。

理事會における主な決定事項を述べると次の通りである。

- (1) 監事並びに Secretary の決定。
- (2) 予算の決定。
- (3) 理事増員の件總會上程の決議。
- (4) 理事選舉管理規定の一部改正。
- (5) Joint Standing Committee of Chambers of Commerce of Singapore 加入申請の決議。
- (6) 原産地証明発給許可申請書提出の決議。

次に、全會員を対象とした例會は「中華總商會との懇親夕食會」「Singapore Light Industries Mission の主要メンバーを囲む午餐會」ほか計4回開催した。

また、日本からのVIP來星に際して、當所が開催した會合として、ジャパンプラブとの共催による「愛知外務大臣歓迎午餐會」などがあつた。

さらに、部會活動は、各部會長の自主的な運営によつて展開され、8部會合計44回に上る會合が開催された。

一方、當所発行の「月報」は、廣報担当委員の絶大なる努力と會員の協力により、充実の一途を辿るとともに、5月號からはタイプオフセット印刷により発行されるに至つた。

また、例年行なわれる赤十字の募金に対しては、會員に呼びかけ、合計金額2,120ドルにおよぶ寄付を行なつた。

なお、當所會員については、70年度中に3件の退會があつたものの、14件による入會があつた。この結果、70年度末における當所會員數は88件となつた。

1. 總會

○ 1970年度年次總會

日 時 1970年6月30日午後6時～8時30分

場 所 シンガポール日本商工會議所會議室

議 件 (1) 年次報告

(2) 會計報告

(3) 理事選舉

次の通り選任された。

Bridgestone Tire Co., Ltd.

Japan Air Lines Co., Ltd.

Japan Trade Center

Mitsubishi Shoji Kaisha Ltd.

Mitsui & Co., Ltd.

Nippon Steel Corporation

Nissho-Iwai Co., Ltd.

Mr. K. Sakura

The Bank of Tokyo, Ltd.

The Mitsui Bank Ltd.

2. 理事會

○ 才12回理事會

- 日 時 1970年7月13日午後12時30分
場 所 會議所會議室
議 件 (1) 才10回、才11回理事會議事録承認
(2) 會頭報告
(3) Auditor, Committee, Secretary の任命
次の通り任命された。

Auditor

Marubeni Iida Co., Ltd.

Mr. Y. Higuchi

Nippon Yusen Kaisha, Ltd.

Mr. Y. Nakamura

Committee

General Affairs & Legal

Mr. K. Nakayama

Liaison & Public Information

Mr. K. Matsumoto

Secretary

Mr. K. Nakao

Asst. Secretary

Mrs. T. Tan

(4) 部會担當理事決定

商社部會 大槻信治氏
(Mitsui & Co., Ltd)

工業建設部會 櫻井清彦氏
(Jurong Shipyard Ltd)

運輸通信サーブイス部會 萩原雄二郎氏
(Japan Air Lines)

金融保險部會 淺沼敏男氏
(The Mitsui Bank, Ltd)

肥料化学品部會 戸室憲一氏
(J E T R O)

ゴム部會 宮地正明氏
(Bridgestone Tyre Co.,Ltd)

金屬部會 栗山明氏
(Nippon Steel Corporation)

纖維部會 中山一三氏
(Nissho Iwai Co., Ltd)

(5) その他

新聞廣告掲載の件等決定。

○ 才13回理事會

日 時 1970年8月11日(火)午後12時30分

場 所 會議所會議室

議 件 (1) 才12回理事會議事録承認

(2) 會頭報告

(3) 各部會正副部會長任命等

Committee

General Affairs) 大島啓吾氏
Accounting) (The Mitsui Bank, Ltd)

Legal Matters	藤原誠氏 (I H I Co., Ltd)
Liaison Officer	栗山明氏
Public Information	(Nippon Steel Corporation)
Investigation & Data	戸室憲一氏 (J E T R O)
	藤原誠氏 (I H I Co., Ltd.)
	林雅美氏 (Nippon Fire & Marine Ins.)
	立花丈平氏 (Jiji Press)
	中田鑑夫氏 (Nippon Kokan K. K.)

- (4) 事務員待遇の件
- (5) Rex Rotary 利用方法
- (6) 専任事務局長待遇の件
- (7) その他

○ 才14回理事會

日 時	1970年9月8日午後12時30分
場 所	會議所會議室
議 件	(1) 才13回理事會議事録承認 (2) 會頭報告 (3) 本年度予算の決定 (4) その他

○ 才15回理事會

日 時 1970年10月6日(火)午後12時30分

場 所 會議所會議室

- 議 件
- (1) 才14回理事會議事録承認
 - (2) 會頭報告
 - (3) 月例會の件
 - (4) Office Boy 昇給の件
 - (5) 日本俱樂部主催バザー協力の件
 - (6) その他

○ 才16回理事會

日 時 1970年11月10日(火)午後12時30分

場 所 會議所會議室

- 議 件
- (1) 才15回理事會議事録承認
 - (2) 會頭報告
 - (3) National Junior College 寄付の件
 - (4) P. S. A. Liaison Committee に対する Representative
の件次の通り決定
representative 大槻理事
Alternate Representative 萩原理事
 - (5) その他

○ 才17回理事會

日 時 1970年12月16日(水)午後12時30分

場 所 會議所會議室

- 議 件
- (1) 才16回理事會議事録承認
 - (2) 會頭報告
 - (3) その他

○ 才18回理事會

- 日時 1971年1月8日(金)午後12時30分
場所 會議所會議室
議件 (1) 才17回理事會議事録承認
(2) 會頭報告
(3) 輸出保險の件
(4) 理事選舉法の改正の件

○ 才19回理事會

- 日時 1971年2月11日(木)午後12時30分
場所 會議所會議室
議件 (1) 才18回理事會議事録承認
(2) 會頭報告
(3) 中華總商會との懇談會
(4) その他

P. S. A. Liaison Committee の Alternate Representative
萩原理事より藤野運輸通信サービス部會長に変更。

○ 才20回理事會

- 日時 1971年3月18日(木)午後12時30分
場所 會議所會議室
議件 (1) 才19回理事會議事録承認
(2) 會頭報告
(3) 赤十字寄付の件
(4) ボーナスについての Lee 首相よりの協力依頼について
(5) ゴム懇話會の件
(6) その他

○ 才21回理事會

- 日時 1971年4月12日(月)正午
場所 會議所會議室
議件 (1) 才20回理事會議事録承認
(2) 會頭報告
(3) 會員入會承認の件
(4) 本年度予算(案)の件
(5) 選舉管理委員會設置の件
(6) 派遣員待遇の件
(7) その他

○ 才22回理事會

- 日時 1971年5月11日(火)午後12時30分
場所 會議所會議室
議件 (1) 才21回理事會議事録承認
(2) 會頭報告
(3) 入會申込みの件
(4) 理事選舉管理規定一部改正の件
(5) アジア地域貿易合同會議への代表者派遣の件
(6) 理事増員の件
理事2名の増員、72年度より実施を決議。
(7) 原産地証明の件
Trade Division に原産地証明発給許可申請書提出を決議
(8) Joint Standing Committee of Chambers of Commerce of
Singapore 加入の件
加入すべく働きかけることを決議。
(9) その他

○ 才23回理事會

- 日 時 1971年6月7日(月)午後12時30分
場 所 會議所會議室
議 件 (1) 才22回理事會議事録承認
(2) 會頭報告
(3) 1970年度事業及び會計報告案
(4) 理事増員の件
(5) その他

○ 書面審議

- (1) 審議事項 理事選舉管理規定の一部改正について
年月日 1971年5月24日
(修正案承認さる)
(2) 審議事項 1970年度會計報告案
年月日 1971年6月28日
(會計報告案承認)

3. 例 會

○ 8月例會

- 日 時 1970年8月24日午後12時30分
場 所 會議所會議室
講 演 「プロトタイプの設定の意義と現状」
Prototype Production & Training Center, E. D. B.
中野邦彦氏

○ 10月例会

日 時 1970年10月24日(土)
場 所 會議所會議室
懇談會 「日本輸出入銀行調査團を囲んで」

○ 3月例会 (中華総商會との懇親夕食會)

日 時 1971年3月26日(金)午後8時
場 所 ホテルミラマ

○ 6月例会 (Singapore Light Industries Mission to Japan の
Wee Mon Cheng 團長ほか主要メンバーを囲む懇談會)

日 時 1971年6月2日(水)午後12時30分～2時
場 所 會議所會議室

4. 部 會

◎ 商 社 部 會

○ 8月例会

日 時 1970年8月3日(月)12時30分
場 所 會議所會議室
議 件

- (1) 本年度運営方針
- (2) 正副部會長の選任
次の通り決定

部會長 丹野義章氏 (Mitsui & Co., Ltd)

副部會長 松本基道氏 (C. Itoh & Co., Ltd)

- (3) 海外駐在員給與に関する調査委員會設立の件
- (4) その他

- 日本ゴム履物協會ミッションとの交歓カクテルパーティー
(ゴム部會、工業建設部會と合同)

日 時 1970年10月12日(月)午後7時
場 所 Orchid Inn

- シンガポール産業見本市関係者との懇談會

日 時 1971年2月21日(日)午後6時30分
場 所 Seaview Hotel

◎ 工業建設部會

- 7月例會

日 時 1970年7月15日(水)午後7時30分
場 所 Tangle Inn

- 8月例會

日 時 1970年8月12日(水)午後7時30分
場 所 Tangle Inn
議 件 Expo '70 に関する映画上映

- 9月例會

日 時 1970年9月16日(水)午後7時30分
場 所 Tangle Inn

○ 見学会

日 時 1970年9月29日

見学先 Sembawang Snipyard (Pte.) Ltd.

○ 日本ゴム履物協会ミッションとの交歓カクテルパーティー
(商社部會、ゴム部會と合同)

日 時 1970年10月12日(月)午後7時

場 所 Orchid Inn
(担当理事、部會長のみ部會代表として出席)

○ 12月例会

日 時 1970年12月16日午後7時30分

場 所 Tangle Inn

議 件 「霞ヶ関ビルに関する映画上映」

○ 2月例会

日 時 1971年2月17日(水)午後7時30分

場 所 Tangle Inn

○ 3月例会

日 時 1971年3月17日(水)午後7時45分

場 所 Tropicana VIP Lounge

○ 4月例会

日 時 1971年4月13日(火)午後7時30分

場 所 Tangle Inn

長江氏 (Malaysia Steel Pipe) カンボジア旅行のスライド上映。

◎ 運輸通信サービス部會

○ 7 月 例 會

- 日 時 1970年7月24日(金)12時30分
場 所 ジャパンクラブ
議 件 (1) 新担当理事挨拶
(2) 正副部會長の選任
次の通り決定
部會長 藤野欣一氏
(Kawasaki Kisen Kaisha, Ltd)
副部會長 稻葉兼良氏
(Kokusai Denshin Denwa K. K.)
(3) その他

○ 10月例會

- 日 時 1970年10月16日(金)午後12時30分
場 所 Orchid Inn
議 件 (1) ジャパンクラブバザー券購入依頼の件
(2) その他

○ 11月例會

- 日 時 1970年11月2日(月)午後12時30分
場 所 日本クラブ會議室
講 演 マラツカ海峽調査團團長佐藤理博氏

○ マラツカ調査團佐藤團長を囲む懇談會

- 日 時 1970年12月20日(日)午後8時
場 所 Raffles Village

○ 3 月 例 會

日 時 1971年3月29日(月)午後12時30分
場 所 Orchid Inn
議 件 (1) P. S. A. の Activity について
(2) その他

○ 5 月 例 會

日 時 1971年5月13日(木)午後12時30分
場 所 Orchid Inn
議 件 P. S. A. の 運 營 関 係 問 題 點 について

◎ 金 融 保 險 部 會

○ 7 月 例 會

日 時 1970年7月29日(水)午後12時30分
場 所 會議所會議室
議 件 (1) 担当理事挨拶
(2) 正副部會長の選任
次の通り決定
部會長 越中幸夫氏
(Taisho Marine & Fire Ins. Co., Ltd)
副部會長 加藤良隆氏
(The Mitsui Bank, Ltd)
(3) その他

○ 9 月 例 會

日 時 1970年9月11日(金)午後12時30分
場 所 會議所會議室
議 件 「最近のシンガポール金融情勢について」
株式會社東京銀行 鵜飼敏哉氏

○ 10 月 例 會

日 時 1970年10月14日(水)午後12時30分
場 所 會議所會議室

◎ 肥料化学品部會

○ 8 月 例 會

日 時 1970年8月4日(火)午後12時30分
場 所 會議所會議室

議 件 (1) 新舊理事引繼
(2) 今年度予算について
(3) 正副部會長の選任

次の通り決定

部會長 山中芳朗氏
(Mitsubishi Shoji Kaisha, Ltd)

副部會長 青柳正氏
(Mitsui & Co., Ltd)

○ 10 月 例 會

日 時 1970年10月16日(金)午後12時30分
場 所 會議所會議室

議 件 (1) 理事會報告
(2) 本年度予算及び事業計画
(3) ジャパンクラブバザー協力要請の件
(4) その他

○ 12 月 例 會

日 時 1970年12月18日(金)午後12時30分
場 所 ジャパンクラブ

議 件 (1) 情報交換
(2) プラスチック原料取引の現状及び意見交換
(3) 理事會報告

○化成肥料調査團との懇談會

日時 1971年2月3日正午
場所 會議所會議室

◎ ゴム部會

○7月例會

日時 1970年7月30日(木)12時30分
場所 會議所會議室
議件 (1) 新舊理事引継ぎ

(2) 正副部會長の選任

次の通り決定

部會長 淺原敬一郎氏
(Kasho Co., Ltd)

副部會長 高見修一氏
(Marubeni Iida Co., Ltd)

(3) 予算の件

(4) 大阪ゴムクラブ來星の件

(5) その他

○9月例會

日時 1970年9月29日(火)午後12時30分
場所 會議所會議室
議件 (1) 予算報告
(2) 国際ゴム會議について
(3) その他

○日本ゴム履物協會ミッションとの交歓カクテルパーティ
(商社部會、工業建設部會と合同)

日時 1970年10月12日(月)午後7時
場所 Orchid Inn

○ 3 月 例 會

日 時 1971年3月30日(火)午後12時30分
場 所 會議所會議室
議 件 ゴム懇話會再設置の件

○ 大洋洲、東南ア移動大学との交歓カクテルパーティ

日 時 1971年4月5日(月)午後6時30分
場 所 ジャパンクラブ

◎ 金 屬 部 會

○ 7 月 例 會

日 時 1970年7月17日(金)午後6時～7時30分
場 所 會議所會議室
議 件 映画會(鉄鋼関係映画2本)

○ 8 月 例 會

日 時 1970年8月28日(金)午後12時30分
場 所 會議所會議室

○ 10 月 例 會

日 時 1970年10月16日(金)午後6時
場 所 會議所會議室
議 件 (1) 理事會報告
(2) 映画

① N K K 津造船所

② 豊かな実りを求めて

「Muda 河灌漑計画」

○ 10月臨時例会

日時 1970年10月24日(土)午前11時

場所 會議所會議室

講演 「東南アジア鉄鋼協會設立について」

日本鉄鋼協會専務理事

田畑新太郎氏

○ 12月例会

日時 1970年12月18日(金)午後12時30分

場所 會議所會議室

○ 鉄鋼連盟奥村専務理事
鉄鋼協會田畑専務理事) を囲む Dinner Party

日時 1971年3月9日午後7時30分

場所 Orchid Inn

◎ 纖維部會

○ 7月例会

日時 1970年7月24日(金)12時30分

場所 會議所會議室

議件 (1) 新舊理事の引き継ぎ

(2) 正副部會長の選任

次の通り決定

部會長 筒井三雄氏

(C. Itoh & Co., Ltd)

副部會長 山形富地氏

(J E T R O)

(3) 新規事業計画及び本年7月～來年3月迄の予算について

(4) 新潟縣見本市

○ 8 月 例 會

日 時 1970年8月26日(水)午後12時30分
場 所 會議所會議室
議 件 本年度予算及び事業計画について

○ 10 月 例 會

日 時 1970年10月5日午後12時30分
場 所 會議所會議室
議 件 (1) 新瀉縣見本市の件
(2) 日本毛麻輸出組合東南アジア市場調査團の件
(3) 70年度纖維部會予算の件
(4) 後任副部會長の件

○ 11 月 例 會

日 時 1970年11月2日(月)午後12時30分
場 所 會議所會議室
議 件 日本毛麻輸出組合東南ア調査團との打合

○ 2 月 例 會

日 時 1971年2月15日(月)午後12時30分
場 所 會議所會議室

○ 3 月 例 會

日 時 1971年3月13日(土)正午
場 所 Johore Bahru TCM
議 件 マレーシアに於ける纖維工場視察

5. その他

○ アジア投融資調査団との懇談會

日時 1971年1月30日午後1時～5時
 場所 Hotel Equatorial
 次 才 13:00～15:00 晝食會
 15:00～15:10 挨拶 (石垣會頭)
 15:10～15:40 金融情勢説明 (松本副會頭)
 15:40～16:00 投資環境説明 (櫻井理事)
 16:10～16:40 華僑社會説明 (中山副會頭)

○ 愛知外務大臣ご一行歓迎午餐會

(ジャパンプラブと共催)

日時 1971年5月2日(日)午後1時～2時30分
 場所 ラツフルズホテル

1970 年度會計報告

INCOME AND EXPENDITURE ACCOUNT FOR THE YEAR ENDED 31st MARCH, 1971.

Period 19.7.69 to 31.3.70			Period 19.7.69 to 31.3.70		
\$ 9,981	Rent	\$13,307.40	\$15,000	Entrance Fees	\$ 1,400.00
2,668	Salaries	5,542.00	40,290	Subscriptions	53,400.00
260	Central Provident Fund & Payroll Tax	741.20			
137	Bonus	720.00			
120	Postages	1,066.12			
265	Water & Light	554.79			
565	Entertainment	2,921.15			
2,613	Conference Luncheons & Refreshments	2,260.50			
4,800	Advertisement	3,894.00			
1,511	Stationery	3,636.32			
522	Telephone	333.23			
1,371	Sundry Expenses	1,372.33			
411	Curtains	-			
941	Newspapers & Periodicals	1,755.34			
4,269	Sub-Committees' Meetings Luncheons, Refreshments & Dinners	7,378.55			
524	Sub-Committee Meeting Film Show	-			
-	Legal Fee - Renewal of Office Lease	310.80			
-	Donation - National Junior College	1,000.00			
-	Subscription in Arrears - written off	45.00			
400	Audit Fee	400.00			
	Depreciation:-				
	Refrigerator	\$85.75			
	Office Equipment	1,311.95			
	Furniture	127.07			
2,193	Fixtures & Fittings	38.49			
21,739	Surplus carried down	5,998.01			
<u>\$55,290</u>		<u>\$54,800.00</u>	<u>\$55,290</u>		<u>\$54,800.00</u>
\$ 2,982	Preliminary Expenses	-	\$21,739	Surplus brought down	\$5,998.01
-	Provision for Income Tax	\$10,800.00	-	Balance to Balance Sheet	4,801.99
18,757	Balance to Balance Sheet	-			
<u>\$21,739</u>		<u>\$10,800.00</u>	<u>\$21,739</u>		<u>\$10,800.00</u>

MONTHLY REVIEW



JAPANESE CHAMBER OF COMMERCE & INDUSTRY SINGAPORE